

## 2025 年度後期（秋期）宮崎大学交換留学生 学部・学科および研究科の受け入れ要件

### 1. 教育学部

- ・教育学部は、プログラム A とプログラム B、プログラム C に分けて交換留学生を募集します。
- ・特別な事情（JLPT\*の中止等）の無い限り、以下の要件は、全て出願時に満たされていることとします。
- ・応募者多数の場合、条件を満たしていても採用されないことがあります。

\*JLPT：日本語能力試験（国際交流基金および日本国際教育支援協会主催）

#### プログラム A

##### ① 紹介

教育学部の専門科目（1. 小学校、中学校の教員養成のための科目 [国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語]、2. 特別支援教育を学ぶ科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（日本語科目及び日本事情に関する科目 [基礎教育科目] の受講も可）。専門分野の研究への高い関心と日本語能力の向上に対する明確な熱意を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。

- ② 語学能力： JLPT・N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。（特別な事情 [JLPT の中止等] の無い限り、JLPT 以外の結果は採用しない。）
- ③ 学習履歴： ー
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 1 年間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名以内/期
- ⑦ 提出書類\*（本人が記入する提出書類は日本語で書くこと。）
  - a. 日本語について、語学能力を証明するもの
  - b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
  - c. プログラム A への出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたい専門分野を具体的に書いてください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
  - d. 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連していない場合は、その理由を説明してください。
  - e. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
  - f. その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。  
（\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。また、不備のある申請書類は審査の対象になりません。）

#### プログラム B

##### ① 紹介

中級・上級レベル以上の日本語科目及び日本事情に関する科目（基礎教育科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（教育学部の専門科目も担当教員の許可があれば受講可）。日本語能力の向上に対する明確な熱意と日本文化の研究への高い関心を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。

- ② 語学能力： JLPT・N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。（特別な事情 [JLPT の中止等] の無い限り、JLPT 以外の結果は採用しない。）
- ③ 学習履歴： ー
- ④ 学年： ー

- ⑤ 期間： 最長 1 年間
- ⑥ 受け入れ人数： 2 名以内/期
- ⑦ 提出書類\* (本人が記入する提出書類は日本語で書くこと。)
- a. 日本語について、語学能力を証明するもの
- b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- c. プログラム B への出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたいことを具体的に書いてください。その際、日本文化の何に特に興味を持っているかを説明してください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
- d. 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連していない場合は、その理由を説明してください。
- e. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
- f. その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。  
(\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。また、不備のある申請書類は審査の対象になりません。)

プログラム C (出願時に JLPT・N2 以上を取得している方は、プログラム C への応募をご遠慮ください。)

- ① 紹介
 

初級～初中級レベルの日本語科目及び日本事情に関する科目（基礎教育科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（教育学部の専門科目も担当教員の許可があれば受講可）。日本語能力の向上に対する明確な熱意と日本文化の研究への高い関心を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。
- ② 語学能力： 下記の日本語および英語両方の要件を満たすこととする。
  - ▶ 日本語： 日本語能力初級レベル以上（下記、[1] または [2] の提出が必要。）
    - [1] 公的な日本語試験の合格証明書
    - [2] 出身大学の成績証明書、および日本語関連授業担当教員による日本語能力の証明となる推薦状
  - ▶ 英語： 十分な英語能力があること。（英語非母語話者の場合は、CEFR・C レベル以上の英語能力を示す文書の提出が必要。）
- ③ 学習履歴： 出願時において、大学レベルの日本語学習経験が 1 年以上あること。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 1 年間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名以内/期
- ⑦ 提出書類 (本人が記入する提出書類は日本語で書くことが望ましいが、英語で書いてもよい。)
- a. 日本語および英語について、語学能力を証明するもの
- b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- c. プログラム C への出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたいことを具体的に書いてください。その際、日本文化の何に特に興味を持っているかを説明してください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
- d. 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連していない場合は、その理由を説明してください。
- e. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
- f. その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。  
(\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。また、不備のある申請書類は審査の対象になりません。)

## 2. 工学部

### 2.1. 応用物質化学プログラム\*

- ① 紹介：  
応用物質化学プログラムは、化学・化学工学および生物工学を基礎として地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産および循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材を育成する教育研究を行う。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 化学または化学関連分野の学習履歴のある学生。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 2 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

### 2.2. 土木環境工学プログラム\*

- ① 紹介：  
土木環境工学プログラムでは、自然との共生をはかりつつ生活・経済・文化・安全を支える社会基盤の充実に貢献できる専門技術者を育成する。本プログラムの研究分野は、構造工学（維持管理、建設材料）、環境制御（水管理、水環境システム）、廃棄物管理とリサイクル、地盤工学（地盤防災、地盤改良）、交通および都市計画である。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。
- ④ 学年： 特に定めない。
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

### 2.3. 応用物理工学プログラム\*

- ① 紹介：  
本プログラムでは、講義、実験実習と卒業研究を通して、半導体材料開発など関わる電子物性工学分野と、放射線計測などに関わる物理計測工学分野、および、AI や情報などの関連分野に関する基礎知識の教育を行っている。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 交換留学プログラム参加時に、所属大学の物理系または電子工学系の学科に所属。
- ④ 学年： 指定なし
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/年
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

その他の情報については、<http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/reorganization.html> をご覧ください。

## 24. 電気電子工学プログラム\*

- ① 紹介：  
最先端の電気電子テクノロジーで世界をびりびりさせよう！」のキャッチフレーズの元、「再生可能エネルギー」、「医療・生体工学」、「スマートエネルギーソリューション」をキーワードとして、現代社会を支える基盤技術の基本原則と基礎知識を習得させ、社会の変化や要請に対応できることを目指しています。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類：
  - a. 研究計画書

## 25. 機械知能工学プログラム\*

- ① 紹介：  
本プログラムでは、講義、実験実習と卒業研究を通して、機械や製品の設計と製造に関する専門知識と技術、および、AI や IT などの関連分野に関する基礎知識の教育を行っている。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 交換留学プログラム参加時に、所属大学の機械工学系の学科に所属。
- ④ 学年： 指定なし。
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/年
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書  
その他の情報については、<https://www.miyazaki-u.ac.jp/mech/mprogram/> をご覧ください。

## 26. 情報通信工学プログラム\*

- ① 紹介：  
各教員の専門分野・連絡先については以下の資料を参考にしてください。あらかじめ本プログラムの教員とメール等で直接やりとりし、受け入れの了承を得てから、応募すること。  
  
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ict/faculty>
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/期
- ⑦ 本プログラム希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

\*注：2025 年度の 1 年生についてはプログラム名が以下の通り変更になりますので、読み替えてください。

(2025 年度 1 年生)

応用物質化学プログラム → 化学生命プログラム  
応用物理工学プログラム → 半導体サイエンスプログラム  
機械知能工学プログラム → 機械知能プログラム

(2025 年度 1 年生)

土木環境工学プログラム → 土木環境プログラム  
電気電子工学プログラム → 電気電子システムプログラム  
情報通信工学プログラム → 情報通信プログラム

### 3. 農学部

#### ① 紹介：

農学部は、環境問題、食の安全確保、持続的な農産物の生産、人と動物の共通感染症克服など、様々な課題に対応できる人材育成を目指し、分野を明確にした 6 学科（植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科）を設置しています。各学科の教育分野と研究内容の詳細な説明は学部ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/>

② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。

③ 学習履歴： 大学教養課程レベルの生物学、化学、物理学の学習歴

④ 学年：

- 学部 3 年次（獣医学科を除く各学科）
- 学部 4 年次（獣医学科）

⑤ 期間： 指定しない

⑥ 受け入れ人数： 各学科 1 名/年

⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。

- a. 希望する学科名
- b. 宗教（動物系の実験や実習を受講する場合）
- c. 獣医学科を希望する場合、希望する研究室名

※以下のホームページを参考に希望する研究室を第 3 希望まで選んでください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/vet/introduction/>

### 4. 地域資源創成学部

#### ① 紹介：

地域資源創成学部は、多様化・複雑化する地域の課題を解決し、地域の持続的発展に資するべく 2016 年に開設されました。マネジメント力を要請するために必要な科目と、地域の課題や地域資源の価値を複眼的な視点からとらえる能力を養成するために「企業マネジメント」、「地域産業創出」、「地域創造」の 3 つの科目群があり、社会・人文科学、および農学・工学分野の科目が設置されています。学部の教育分野と研究内容の詳細な説明は、下記の学部ホームページをご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>

② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。

③ 学習履歴： 特に定めない。個別に判断する。

④ 学年： ー

⑤ 期間： 特に定めない。個別に判断する。

⑥ 受け入れ人数： 最大 2 名/期

⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類：

- a. 日本語について、語学能力を証明するもの

- b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- c. 本学部で学びたい専門分野を具体的に書いてください。可能ならば、聴講したい授業の科目も書いてください。(ただし、学部単位での受入になります。応募の際に提出する応募申請書において、地域資源創成学部を希望される場合については、学科、コースの記載は不要です。)
- d. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。

## 5. 農学研究科

### ① 紹介：

農学研究科（5 コース）では、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源および生命に関する問題点を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際性豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指しています。各コースの教育分野と研究内容の詳細な説明は、農学研究科ホームページをご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/departments/gsa-master.html>

[https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/guide\\_nou\\_m.pdf](https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/guide_nou_m.pdf)

- ② 語学能力： 英語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 希望する専門分野に関連する学士課程での専門教育の学習歴
- ④ 学年： 修士1年次
- ⑤ 期間： 指定しない
- ⑥ 受け入れ人数： 各コース1名/年
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。

#### a. 指導を希望するコース名、研究分野（教員名）

※農学研究科では、原則として留学中に研究指導を受ける「特別研究学生」として受け入れます。受入後、指導教員や授業担当教員と相談の上、授業を聴講することは可能ですが、単位の取得はできません。研究分野（教員名）は上記のホームページを参照してください。

#### b. 単位の取得を希望する場合、「特別聴講学生」として受け入れすることも可能ですが、英語で受講することができる研究科の専門授業科目の数が限られているため、日本語能力試験N2以上で、日本語が流暢に話せることを要件とします。

#### c. 大学の卒業証明書

#### d. 宗教（動物系の実験や実習を受講する場合）

Exchange Student Requirements of Faculties/Departments/Graduate Schools of  
the University of Miyazaki, 2<sup>nd</sup> Semester (Fall) 2025

1. Faculty of Education

The Faculty of Education will accept international students through Program A, Program B and Program C below.

Unless there is a special reason (e.g. cancellation of the JLPT), the following requirements must be met at the time of application.

If there are many applicants, some students might not be admitted even when they meet the requirements.

Program A

① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Faculty of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs Education). They could also take or audit the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education). The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program A, with a keen interest in their specialized fields and a great enthusiasm for the development of Japanese language ability.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

② Language Ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently. (Unless there is a special reason [e.g. cancellation of the JLPT], the result of any tests other than the JLPT cannot be accepted.)

③ Learning history: -

④ Grade: -

⑤ Term: For a maximum of one year

⑥ Number accepted: Maximum one student per semester

⑦ Special document for this course\*: Please submit with common application form. **Write in Japanese.**

a. Documents to prove your ability of Japanese.

b. Your field(s) of study after the graduation of high school.

c. Write at the top of the application form that you are applying for Program A, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UoM. Write the titles of classes of UoM you are interested in, if possible.

d. Explain how your study at your home university is related to your study at UoM. If they have little connection, explain why.

e. Explain how studying at UoM will influence your future life or career.

f. Add anything else you want to say about yourself if you have any.

(\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused; incomplete applications will not

be considered.)

## Program B

### ① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Advanced or Intermediate Japanese Language and Culture. They could also take or audit the classes of Faculty of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs Education) upon the permission of the professor in charge. The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program B, with a great enthusiasm for the development of Japanese language ability and a keen interest in Japanese culture.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

- ② Language Ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently. (Unless there is a special reason [e.g. cancellation of the JLPT], the result of any tests other than the JLPT cannot be accepted.)
- ③ Learning history: -
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: For a maximum of one year
- ⑥ Number accepted: Maximum two students per semester
- ⑦ Special document for this course\*: Please submit with common application form. **Write in Japanese.**
- Documents to prove your ability of Japanese.
  - Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - Write at the top of the application form that you are applying for Program B, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UoM, including what interests you most about Japanese culture. Write the titles of classes of UoM you are interested in, if possible.
  - Explain how your study at your home university is related to your study at UoM. If they have little connection, explain why.
  - Explain how studying at UoM will influence your future life or career.
  - Add anything else you want to say about yourself if you have any.
- (\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused; incomplete applications will not be considered.)

Program C (A student who has passed the JLPT N1 or N2 test by the time of application cannot apply to the Program C.)

### ① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Elementary or Pre-Intermediate Japanese Language and Culture. They could also take or audit the classes of Faculty of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs



Education) upon the permission of the professor in charge. The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program C, with a great enthusiasm for the development of Japanese language ability and a keen interest in Japanese culture.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

- ② Language Ability: Students are expected to meet both of the requirements of Japanese and English ability below.
  - Japanese: Elementary level or higher. (Submission of either [1] or [2] below is required.)
    - [1] The result of an official test of Japanese language ability
    - [2] The transcript from home university and a letter of recommendation by an instructor of Japanese language
  - English: Sufficient English ability (i.e., CEFR C level or higher. Submission of documents to show the English language ability is required if you are not a native speaker of English.)
- ③ Learning history: At least one year of university level learning of Japanese language at the time of application
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: For a maximum of one year
- ⑥ Number accepted: Maximum one student per semester
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application form. **Write in Japanese, but you could write in English if you prefer.**
  - a. Documents to prove your ability of Japanese and English.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Write at the top of the application form that you are applying for Program C, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UoM, including what interests you most about Japanese culture. Write the titles of classes of UoM you are interested in, if possible.
  - c. Explain how your study at your home university is related to your study at UoM. If they have little connection, explain why.
  - f. Explain how studying at UoM will influence your future life or career.
  - g. Add anything else you want to say about yourself if you have any.

(\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused; incomplete applications will not be considered.)

## 2. Faculty of Engineering

### 2.1. Applied Chemistry Program

- ① Introduction:

Based on the sciences, chemical engineering, and biotechnology, the Applied Chemistry Program aspires to nurture engineers who can contribute to the creation and development of technologies regarding the production of materials, resources, and energy as well as the cyclic process that conserves the environment and ecosystem.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.

- ③ Educational background: Undergraduate who has earned credits in chemistry and/or related courses.
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: Two students per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

## 2.2. Civil and Environmental Engineering Program

- ① Introduction: The Civil and Environmental Engineering Program provides to develop professional engineers who can contribute to the enhancement of infrastructure that supports life, economy, culture, and safety while living in harmony with nature. Research topics of our program are structural engineering (maintenance and repair, construction material), environmental conservation (water resource, water environmental system) and waste management and recycling, geotechnical engineering (disaster prevention, ground improvement) and traffic and urban planning.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually.
- ④ Grade: Not specified.
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

## 2.3. Applied Physics and Engineering Program\*

- ① Introduction:
 

Applied physics and engineering program offers the education in the fields of electric material science and technology, physical measurement engineering, and AI and IT technology through lectures, experiments, practices and research activities.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Undergraduate attending the department of physics, electronic engineering, and related fields in his university.
- ④ Grade: Not specified (judged individually).
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per year
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

For other information, please visit the home page.

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/reorganization.html>

## 2.4. Electrical and Electronic Engineering Program\*

- ① Introduction: The Faculty of Engineering is deeply rooted in Miyazaki Prefecture and is involved globally, whereby the Faculty has the important missions of educating technical experts who are gifted in their understanding of humanity, communication ability, a fundamental level of knowledge,

creation, and the application of such knowledge. Electrical and Electronic Engineering Program provides opportunities to study the fundamental subjects of electrical and electronic circuits, electrical and electronic information theory, and electrical and electronic materials science: as well as the main field, energy engineering, communication engineering, system engineering, computer engineering, and control engineering. These alumni are expected to contribute to the local community as well as to the international community as scientists, engineers, or researchers, who will play an important role in the development of science and technology in the 21<sup>st</sup> century.

- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually.
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course:
  - a. Research plan

## 2.5. Mechanical and Intelligent Engineering Program\*

- ① Introduction: Mechanical and Intelligent Engineering Program offers the education in the fields of not only the mechanical engineering, but also AI and IT through lectures, experiments, practices and research activities.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Undergraduate students enrolled in the department of mechanical engineering or related fields at their university.
- ④ Grade: Not specified (judged individually).
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per year
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

For more information, please visit the home page.

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/mech/mprogram/>

## 2.6. Information and Communication Technology Program (ICT Program)

- ① Introduction: See the following for the specialized areas of each faculty member. Communicate directly with the faculty members of this program by e-mail, etc. for their approval before applying.  
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ict/faculty>
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

\*Note: For first-year students in academic year 2025, the program name will change as follows and should be

interpreted accordingly.

Applied Physics and Engineering Program > Semiconductor Science and Applied Physics Program  
Electrical and Electronic Engineering Program > Electrical and Electronic System Program  
Mechanical and Intelligent Engineering Program > Mechanical and Intelligent Program

### 3. Faculty of Agriculture

① Introduction:

The Faculty of Agriculture aims to develop human resources who can solve various issues such as environmental problems, ensuring food safety, sustainable production of agricultural products, and overcoming zoonosis. The faculty has six departments (Agricultural and Environmental Sciences, Forest and Environmental Sciences, Biochemistry and Applied Biosciences, Marine Biology and Environmental Sciences, Animal and Grassland Sciences, Veterinary Sciences). Please see the faculty website for a detailed description of the educational fields and research of each department.

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/>

② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.

③ Educational background: History of biology, chemistry, physics at university level

④ Grade: -

➤ 3rd year (except for Veterinary Sciences)

➤ 4th year (Veterinary Sciences)

⑤ Term: Not specified

⑥ Number accepted: One student per department every year

⑦ Special document for this course: Please submit with common application

a. Department preferences

b. Religion (if you will attend experiment and/or practice with animals)

c. Laboratory preferences (if you apply to Department of Veterinary Sciences)

\* Please refer to website below and select your desired laboratory up to your third choice.

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/vet/introduction/>

### 4. Faculty of Regional Innovation

① Introduction:

The Faculty of Regional Innovation, established in 2016, aims to solve the diversified and complicated regional issues and contribute to sustainable regional development. In order to develop the necessary subjects for acquiring the management skills, and to build up the ability for viewing the regional issues and the value of regional resources from a multifaceted perspective, there are three subject groups of "Business Management," "Regional Industrial Creation," and "Regional Management and Development", and subjects of social sciences and humanities, and agricultural sciences and engineering are set. For a detailed explanation of the department's educational fields and field of research, please refer to the department's website as shown below.

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>

② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.

③ Educational background: Not fixed, judged individually.

- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Not fixed, judged individually.
- ⑥ Number accepted: Maximum of two students per term
- ⑦ Special document for this course:
  - a. Documents to prove your ability of Japanese.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Specify your field(s) of interest you want to pursue at Faculty of Regional Innovation. (Exchange students will be admitted on the faculty basis. You are not required to specify the department or course on the application form.)
  - d. Explain how studying at Faculty of Regional Innovation will influence your future life or career.

## 5. Graduate School of Agriculture

- ① Introduction:
 

The five-course of the Graduate School of Agriculture offers to develop researchers who can solve global issues related to food, environment, resources and life, and contribute to the creation of a society capable of sustainable production in harmony with the natural environment. To develop international researchers with advanced specialized knowledge and application skills in agriculture, we provide education that deepens the expertise in the undergraduate. Please refer to the Graduate School of Agriculture websites below for a detailed description of the educational fields and research contents of each course.

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/departments/gsa-master.html>  
[https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/guide\\_nou\\_m.pdf](https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/guide_nou_m.pdf)
- ② Language Ability: Those who can speak English fluently.
- ③ Educational background: History of specific undergraduate education related to the specialized field you wish to study
- ④ Grade: 1st year in Master's course
- ⑤ Term: Not specified
- ⑥ Number accepted: One student per course every year
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application
  - a. Course and research field (name of the supervisor) you hope
 

\* In principle, Graduate School of Agriculture accepts students as "special research students", who are supervised in their research activities while studying in the graduate school. After acceptance, you may take classes after consulting with your supervisor and the teachers in charge of the class, but you will not be able to receive credits. Please refer to the above website for research field (supervisor names).
  - b. If you wish to earn credits, you may be accepted as a "special audit student". However, since there are only a limited number of specialized subjects that can be taken in English, Japanese language ability (JLPT N2 or higher with fluent speaking ability) is required.
  - c. Graduation certificate
  - d. Religion (if you will attend experiment and/or practice with animals)